

総合資源エネルギー調査会 基本政策分科会

電力需給検証小委員会 第4回会合

資料3

今回の電力需給検証の進め方について

1. 電力需給検証の体制図

電力需給に関する検討会合
(平成23年3月13日内閣総理大臣決裁)

座長 : 官房長官
座長代行 : 経済産業大臣
構成員 : 総理を除く全閣僚



電力需給対策
を決定



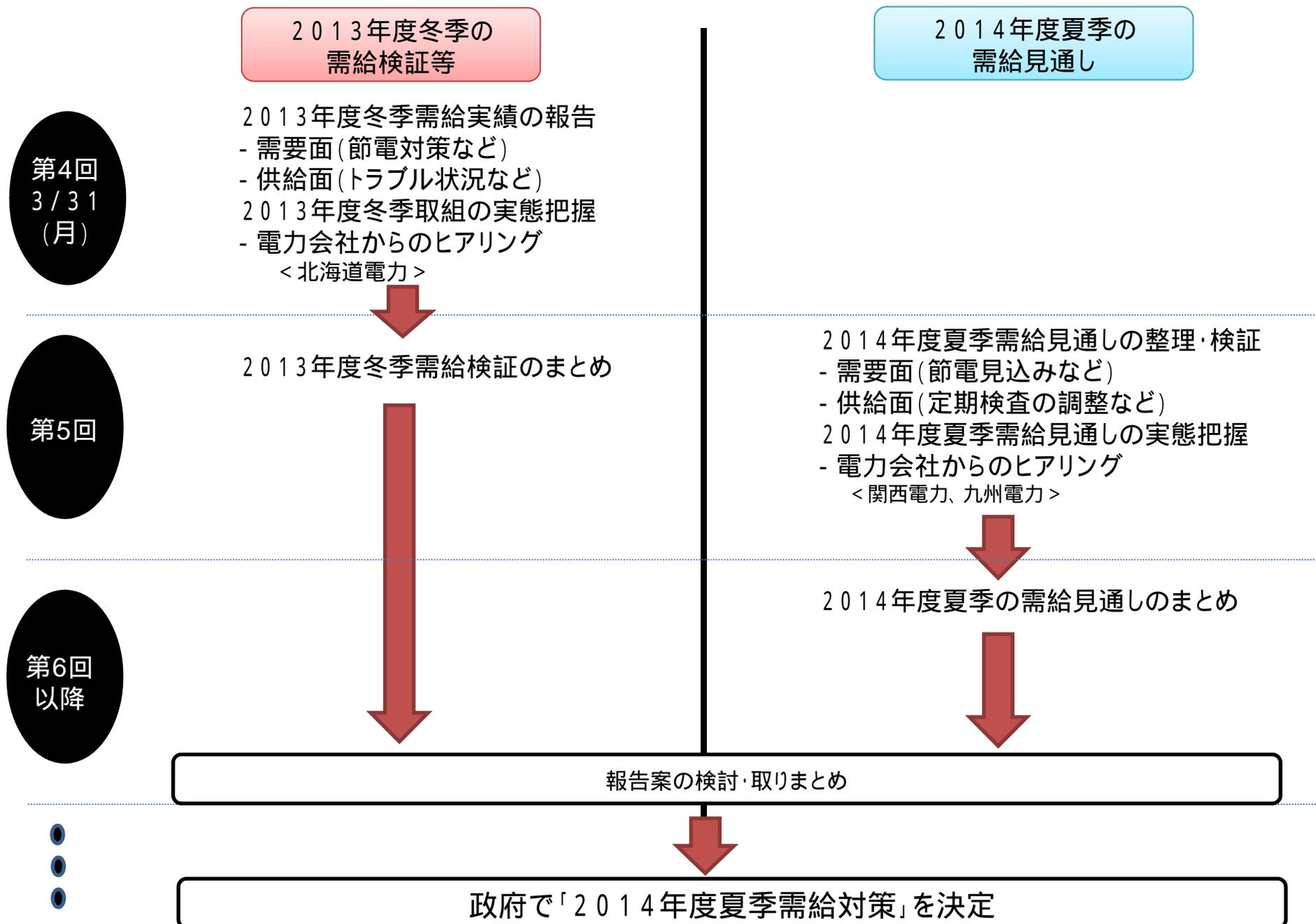
総合資源エネルギー調査会基本政策分科会
電力需給検証小委員会

小委員長 : 柏木 孝夫(東京工業大学 特命教授)
委員 : 秋元 圭吾((公財)地球環境産業技術研究機構 システム研究グループリーダー)
植田 和弘(京都大学大学院経済学研究科 教授)
大山 力(横浜国立大学大学院工学研究院 教授)
鯉沼 晃((一社)日本経済団体連合会 資源・エネルギー対策委員会企画部会長)
清水 宏和(日本商工会議所 中小企業政策専門委員)
辰巳 菊子((公社)日本消費生活アドバイザー・コンサルタント協会常任顧問)
中上 英俊((株)住環境計画研究所 代表取締役会長)
松村 敏弘(東京大学社会科学研究所 教授)



電力需給見通
しを検証

2. 検討項目について



3. 電力需給の検証に関する主要論点の例

【2013年度冬季の需給の検証】

| | |
|-----|--|
| 供給面 | 供給力は、想定したものと比べてどうであったか。 火力は、どの程度の供給力であったか。供給に重大な影響を与える計画外停止等の状況はどうか。 水力や再生可能エネルギーによる供給力はどうか。過大又は過小の見通しとなっていなかったか。 供給面でどのような取り組みがなされたか。 |
| 需要面 | 2013年度冬季の需要は、定着節電の目安と比べてどの程度減少(2010年度比)したか。 需要減少は分野によってばらつきはあるか。需要減少となった主な要因は何か。 今回の節電要請は、社会経済活動にどのような影響を及ぼしたか。 いわゆる定着節電がどの程度進んだか。 需要対策としてどのような取り組みがなされたか。 |

【2014年度夏季の需給見通し】

| | |
|-----|--|
| 供給面 | 火力の定期検査、計画外停止等による影響はどの程度か。 長期停止・被災火力の再稼働、緊急設置電源等による出力増、自家発からの購入増、再生可能エネルギーの更なる供給等による供給力の増加は見込めるか。 電力融通の見込みはどうか。 大規模の電源脱落リスクについてどのように考えるか。 |
| 需要面 | 2014年度夏季の経済見通し、気温影響の見込みはどうか。 いわゆる定着節電をどの程度見込むのか。 需給調整契約など需要サイドの対策の見込みはどうか。さらなる工夫の余地はないか。 |